



環境アニュアルレポート2022



株式会社NECライベックス

目次

	頁
◆ ごあいさつ	3
◆ 1. 会社概要	4
◆ 2. 環境マネジメントシステム（現状と取り組み）	5
◆ 3. 環境目標および実績	15
◆ 4. 環境負荷状況（マテリアルバランス）	17
◆ 5. 主な環境負荷低減活動	18
◆ 6. 社会貢献活動	21

本レポートは、次の対象範囲、活動期間についてまとめています。

対象範囲：ISO14001認証取得範囲の拠点
※本社および6関連事業所(6頁参照)

活動期間：2021年4月1日～2022年3月31日（2021年度）
※対象期間前後の情報も含みます

ごあいさつ

6月にNECライベックスの社長となりました取屋です。今般、「環境アニュアルレポート2022」の発行にあたり、一言、ご挨拶をさせていただきます。

当社は、NECグループの中でも唯一「食」に特化した会社で、「安全・安心で良質なサービスの提供」を基本理念として事業運営を行っております。

昨今、コロナ禍の環境に伴い、お客様の環境が大きく変化し、従来とは違った形でサービス活動を展開せざるを得ない状況にあります。今までと変わらず、当社の事業サービスを通じて、“お客様を、より元気に・より便利に・より幸せに”をモットーとして事業を続けてまいりたいと考えます。

NECでは、2021年度に環境中期計画「NEC環境ターゲット2030」を策定され、NECグループ全体でカーボンニュートラルに向け進みつつあります。

当社も、このコンセプトである「地球と共生して未来を守る」を共有し、事業を推進してまいります。特に、食品ロス対策については、当社の環境方針にも掲げているとおり、重点活動の1つでもあります。「温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供」等、美味しい料理をご提供し、残さず食べていただくことが、食品ロス対策につながりますので、基本サービスを徹底することで、地球環境に貢献していきたいと考えます。

「 $100 - 1 = 0$ 」ということが言われています。この言葉は、“たった一つの間違いが社会の期待と信頼をゼロにしてしまう”という意味合いであります。

環境に関しては、法律を順守するだけでなく、法の主旨をよく理解して活動を推進し、結果に結びつけていかなければなりません。

2022年4月、「プラスチック資源循環促進法」が、施行されました。本「環境アニュアルレポート2022」の中で私たちの活動を紹介させていただきましたので是非、ご意見をいただければ幸いです。



2022年 8月
株式会社NECライベックス
代表取締役執行役員社長
取屋 憲治

1. 会社概要

当社は、NECグループを中心とした福利厚生業務の専門アウトソーシング会社として、専門性の追求と品質・サービスの拡充に努め、お客様により満足のいただけるライフソリューションのご提供を心がけています。

◆会社概要

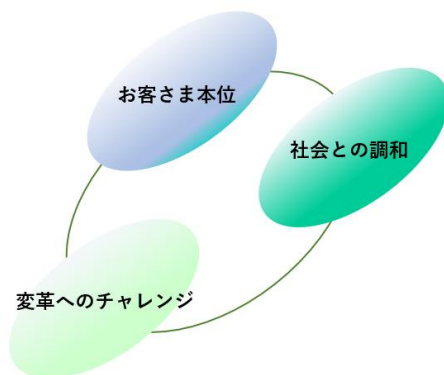
会社名 : 株式会社NECライベックス
本 社 : 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル6階
設 立 : 1970年10月14日
代表者 : 代表取締役執行役員社長 取屋 憲治
資本金 : 1 億円
従業員数 : 1,469名(2022年3月末現在)
売上高 : 78億円(2022年3月期)
事業内容 : NECグループを中心とした福利厚生、オフィスビジネス等のサービス業
営業拠点 : 全201拠点 (2022年4月1日現在)

◆経営ビジョン

お客さま本位 お客さまの声を大切にし、最高のサービスを創造、提供します。福利厚生のコントラクト事業を通じ、最も信頼されるパートナーとなります。

変革へのチャレンジ 従業員の尊厳を守り、自主性、創造性を大切にすることで、変化への的確に対応します。

社会との調和 地域や社会の一員として、積極的に社会に貢献します。



2. 環境マネジメントシステム（現状と取り組み）

当社は、環境方針を制定し、国際規格である ISO14001に準じた環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善を図るため、年間計画に沿った環境活動を推進しています。

(1) 環境方針

NECライベックスは、お客さまに安全安心な福利厚生サービスの提供を通じて持続可能な社会づくりに貢献します。

1. お客さまや地球環境の環境負荷低減、気候変動の影響軽減に貢献するため、次の活動を重点的に取り組みます。

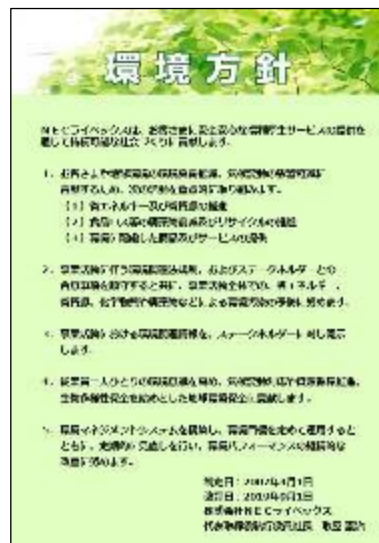
- (1) 省エネルギーおよび省資源の推進
- (2) 食品ロス等の廃棄物削減およびリサイクルの推進
- (3) 環境に配慮した商品およびサービスの提供

2. 事業活動に伴う環境関連法規制、およびステークホルダーとの合意事項を順守すると共に、事業活動全体での、省エネルギー、省資源、化学物質や廃棄物などによる環境汚染の予防に努めます。

3. 事業活動における環境関連情報を、ステークホルダーに対し開示します。

4. 従業員一人ひとりの環境意識を高め、気候変動対応や資源循環推進、生物多様性保全を始めとした地球環境保全に貢献します。

5. 環境マネジメントシステムを構築し、環境目標を定めて運用するとともに、定期的に見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的な改善に努めます。



環境方針ポスター

制定日：2007年 4月 1日
改訂日：2019年 9月 1日
株式会社 NEC ライベックス
代表取締役執行役員社長
取屋 憲治

(2) ISO14001認証

当社は、1998年10月、オフィス向け食堂・売店を運営する複合事業体として、業界で初めてISO14001をNEC本社ビルにおいて認証取得しました。
また、2007年12月、取得範囲を拡大し、現在は本社および6ヵ所の関連事業所に至っています。

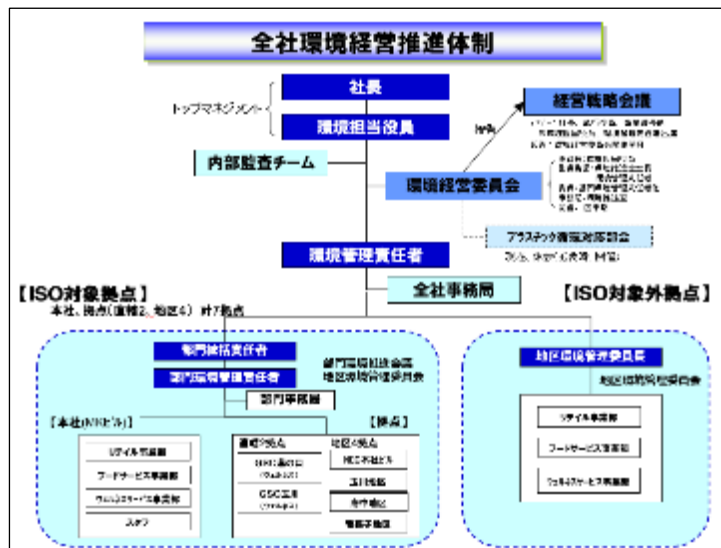
登録事業者：株式会社NECライベックス
登録活動範囲：NECグループを中心とした福利厚生、オフィスビジネス等のサービス業（売店・食堂・宿泊研修施設運営、厚生文体施設運営管理、ヘルス&スポーツに関する事業およびその付帯業務）
関連事業所：本社、NECグリーンプラザ玉川・溝の口、NEC本社ビル、玉川地区、府中地区、我孫子地区
審査機関：一般財団法人日本品質保証機構(JQA)
登録証番号：JQA-E-900066AB
登録日：1997年10月31日
有効期限：2024年10月30日



ISO14001登録証

(3) 環境推進体制

当社は、社長と環境担当役員をトップマネジメントとし、ISO対象範囲と範囲外に体制を分けて構築・運用しています。3ヶ月ごとに開催する環境経営委員会において、重要事項を審議し、地区委員会において周知徹底を図っています。



環境推進体制図（2021年11月現在）

(4) 順守義務・順守評価

①順守義務 <2021年度重点活動方針>

当社は、約40の環境関連法律が該当しますが、その中で特に、廃棄物、化学物質、フロン機器に関する法律の徹底が求められます。

また、2022年4月から施行されました「プラスチック資源循環促進法」に関しても管理必須の法律となり、法違反のないよう周知徹底しています。

◆廃棄物管理の徹底

<産業廃棄物処理委託会社の管理>

当社は、65社の産業廃棄物処理会社に産業廃棄物の処理を委託しています。各委託会社については、最新版の許可証（写し）を取り寄せて、その有効性の確認（許可証期限管理）を実施しています。

また、契約時、および3年毎に処理場等へ赴き、現地確認を実施しています。2021年度では、17社の現地確認を実施しました（優良会社のHP確認含む）。



現地確認実施状況（食廃油処理会社 2021.7.14）

◆化学物質管理の徹底

当社は、以下のとおり、化学物質の管理を徹底しています。

※当社で使用している化学物質は主に洗剤です。

- ・新規使用時の内容確認（アセスメントの実施）
- ・化学物質使用一覧、SDS（安全データシート）の掲示
- ・漏えい対策
- ・保管方法の対策（塩素と消毒用アルコールを離して保管）
- ・保護具の着用、小分け洗剤の表示
- ・定期棚卸

また、化学物質に関するルールを現場責任者のためにわかりやすくまとめた「化学物質運用ガイドライン」を作成し、職場責任者教育で周知しています。

◆フロン機器管理の徹底

当社は、以下のとおり、フロン機器の管理を徹底しています。

- ・フロン機器使用台帳の作成
- ・簡易点検、定期点検
- ・漏えい時の対応
- ・廃棄時のフロンの回収、破壊
- ・定期棚卸

また、フロン機器に関するルールを現場責任者のためにわかりやすくまとめた「**フロン機器運用ガイドライン**」を作成し、職場責任者教育で周知しています。



化学物質運用ガイドライン

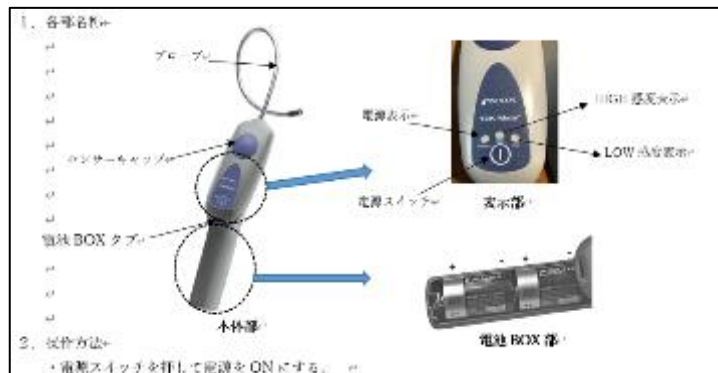


フロン機器運用ガイドライン

《環境事故対策》

2021年度からは、法令違反の観点だけでなく、環境事故対策として、フロン機器の経年劣化によるフロンガス漏えい防止対策を実施しています。

- ①設置15年以上の機器の更新計画立案（計画：2023年度までに更新完了）
 - ・全社で104台のフロン機器が該当
 - ・2021年度は57台を更新完了
- ②上記機器のフロン検知器による点検
 - ・検知器を3台購入 ※フロン検知器 取り扱い簡易手順書作成
 - ・2022年度と2023年度に更新予定の対象機器（60台）の年1回の点検完了



フロン検知器 取り扱い簡易手順書

◆「プラスチック資源循環促進法」の対応

当社は、特定プラスチック使用製品の提供事業者で、2021年度の提供実績は約1トンでした。現在、特定プラスチック使用製品使用量削減に向け、合理化策を推進していますが、2022年度の削減目標を基準年比21%削減と設定し、さらなる削減を推進していきます。

◆宿泊施設関係（NEC三田ハウス等）

- ・アメニティ備品（歯ブラシ、カミソリ、くし、ヘアキャップ）は、全てバイオマス20～40%配合品に変更。
- ・フロント置きし、必要な人に提供する方法に変更。

◆売店関係

- ・カフェコーナーのストローは、提供中止。（売店で有料販売に変更）マドラーは、紙製に変更。
- ※本社FIELDのカフェのストローは竹製、マドラーも木製に変更。
- ・応接ゾーンのお客様サービスコーナーで提供のペットボトル飲料は缶飲料に変更。



アメニティ備品の提供（バイオマス配合品・フロント置きに変更）＜NEC三田ハウス＞



マドラー 紙製に変更



ストロー 有料化



ペットから缶飲料へ変更
＜お客様サービスコーナー＞

また、当社は、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出事業者でもあり、2021年度の排出実績は約208トンで、排出量の削減も推進していきます。

②順守評価

当社は、全ての拠点に関係する環境関連の法律、条例、その他要求事項を調査し、その順守評価を毎年、実施しています。

2021年度も全ての法律、条例の改正情報をチェックのうえ、特定したリストを更新し、10月に順守評価を実施し、全拠点の『法律違反なし』を確認しております。

<当社順守評価のポイント>

法規制等の内容は、法律用語が使われるため、専門的知識を持たない現場の人にはどうしても理解しづらい部分があります。

そこで当社では、適正な評価結果ができるよう、作業内容に照らしてYes・Noを選択することで、適正な評価につながる「**順守評価ガイドライン**」を作成し、現場の人からも、わかりやすいと好評を得ています。

また、順守評価をする人、その評価結果のチェックをする人は、力量確保のため毎年、「**順守評価者教育**」を実施し、理解度テストで全問正解しないと評価資格があたえられません。



順守評価ガイドライン

順守評価者教育理解度テスト
1. 以下の法令は、環境基本法、及びその関係法令から制定されている。
2. 以下の法令は、環境基本法、及びその関係法令から制定されている。
3. 以下の法令は、環境基本法、及びその関係法令から制定されている。
4. 以下の法令は、環境基本法、及びその関係法令から制定されている。
5. 以下の法令は、環境基本法、及びその関係法令から制定されている。

順守評価者教育理解度テスト

また、順守評価以外にも内部統制推進部による業務監査、地区環境管理委員会および事務局による環境パトロールにより現地、現物の状況を確認し、法違反が行われていないか確認をしています。

(5) 緊急事態対応

当社は、発生する可能性のある環境事故・法律違反を想定して、以下の6つについて**緊急事態リスクとして特定**しています。

- ・ 次亜塩素酸ソーダタンクからの漏えい *1
- ・ 洗剤等の排水への流出
- ・ フロンの漏えい
- ・ 廃棄物の不法投棄
- ・ 廃食油運搬および保管時の客先敷地内への漏えい
- ・ 車両からの燃料等オイルの漏えい

*1 NECグリーンスイミングクラブ（玉川・溝の口）のみ該当

この緊急事態リスクの発生に備え、個々の**緊急事態対応手順書**を作成し、各拠点には**緊急事態対応備品**（吸着シート等）を整備しています。

また、毎年、上記リスクのいずれかの**緊急事態対応訓練**を実施しています。

2021年度は、「車両からの燃料等オイルの漏えい」訓練を実施しました。

参加者の方々は、できるだけ実際に発生したことを検証するため、現地で吸着シート等を使用し、真剣に対応しました。



緊急事態対応備品



緊急事態対応訓練状況<我孫子地区 2022.3.10>

(6) 環境教育・意識啓発活動



当社は、各種環境教育の実施および環境意識啓発の発信等を行い、従業員の環境意識啓発および力量確保を図っています。

①環境教育の実施

毎年4月に教育プログラムを計画し、実施結果は報告書として記録しています。全体の教育体系は、以下の表のとおりですが、力量確保が求められる教育は、理解度テストを実施し、力量を確認しています。

また、2021年度の教育統一テーマは「フロン機器の適正管理」を取り上げました。

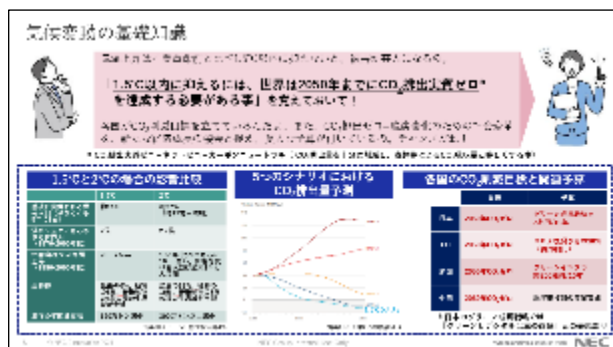
区分	教育・訓練名	対象者	実施時期
意識啓発	入社時教育	パート等	適宜
		社員(新卒)	4月
	一般従業員教育	社員(中途)	適宜
		ISO認証拠点：全従業員 ISO認証拠点以外：管理監督職	11月
力量確保	作業に準じた各種教育	電子マニフェスト担当者、職場責任者等	適宜
	著しい環境側面従事者	特管産廃管理者<資格維持>	適宜
	緊急事態対応訓練	認証拠点	主に4Q
	順守評価者教育	順守評価者・承認者	9月
	内部監査員新任教育	内部監査員(新任)	適宜
	内部監査員フォローアップ教育	内部監査員(既存)	9月

環境教育体系

◆一般従業員教育

2021年度の一般従業員教育は、ISO認証拠点の全従業員および認証拠点以外の管理・監督職を対象に実施しました。(計513人、100%受講)

また、教育資料は、NECグループ共通資料と当社独自資料を使用しました。



2021一般従業員教育資料
<NECグループ共通>



2021一般従業員教育資料
<当社独自>

②意識啓発活動の実施

当社は、環境月間諸行事等を実施し、従業員の環境意識の向上を図っています。

◆環境月間

毎年、6月を環境月間として設定し、諸行事を実施しています。

2021年度は、NECグループ企画の

「**MY行動宣言の募集**」に1,259名

の従業員が参加いたしました。



MY行動宣言 5つのアクション

◆省エネ月間

毎年、2月を省エネ月間として設定し、諸行事を実施しています。

2021年度は、ISO全拠点において省エネパトロールを実施し、エネルギー削減につながる指摘や提案事項を抽出しました。

(7) 環境コミュニケーション

当社は、社内外のステークホルダーに対し、各種ツールを活用して積極的に情報発信しています。

①内部（社内）コミュニケーションの実施

2013年度より、従業員への情報提供ツールとして毎月「**環境・衛生・安全ニュース**」を発行しています。

2021年度は、「フロン機器の適正管理底」をテーマとしました。

環境・衛生・安全ニュース

②外部（社外）コミュニケーションの実施

2003年度より、毎年、「**環境アニュアルレポート**」を発行し、主なステークホルダーへの配布、および当社ホームページ上に掲載し、一般公開しています。

また、外部からの苦情等については、「**環境情報受付一覧表**」として対応結果を記録しております。

2021年度は、苦情等の報告はありませんでした。

(8) 内部監査および外部審査・監査

当社は、年間計画にもとづき、内部監査、外部審査を実施しています。

また、審査・監査において指摘事項が発生した場合、是正計画をたて、是正結果の有効性確認を実施しております。

2021年度は、以下の監査および審査が行われました。

①内部監査・NEC環境経営監査の実施

2021年度は、NEC環境マネジメントグループからの監査の効率化の提案に基づき、NEC環境経営監査を内部監査の一部として実施（トライアル）しました。

10月に4部門の内部監査（当社監査員による内部監査）を実施し、12月に残りの部門（環境部門と4部門）のNEC環境経営監査（NECグループ監査員による監査）を実施いたしました。

今回のトライアルについては、特に問題もなく、監査工数および監査準備の削減という形につながり全体的な監査の効率化として役立ちました。



NEC環境経営監査オープニング（2021.12.16）

②ISO14001審査

財団法人日本品質保証機構（JQA）の審査員によるISO14001審査は、NECの審査計画に基づき行われています。

2021年度については、当社は審査の対象となりませんでした。

3. 環境目標および実績



当社は、環境方針を制定し、国際規格である ISO14001 に準じた環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善を図るため、年間計画に沿った環境活動を推進しています。

(1) 2021年度環境目標（達成状況）

2021年度は、全項目の環境目標を達成することができました。

リテイル事業部およびウェルネスサービス事業部の部門目標については、当初計画を期中で達成したため、目標の上方修正（見直し）をしています。

活動項目	2021年度目標	2021年度実績	評価
【地球温暖化防止】			
エネルギー使用量（絶対値）の削減	918kl	889kl	○
【資源循環】			
水道使用量の削減	45,696m ³	40,961m ³	○
1食あたりの生ゴミ発生量の削減 ※1	37.8g/食	37.0g/食	○
【環境に配慮した事業の推進】			
フロン機器の更新 （リテイル事業部）	33台	59台	○
食品ロスの削減（提案件数） （フードサービス事業部）	2件	2件	○
環境配慮型備蓄品の提案 （ウェルネスサービス事業部）	31件	47件	○
SDGs活動の推進 （スタッフ）	100%	100%	○

【評価基準】 ○：達成（100%以上）、△：未達成（90%以上100%未満）、×：未達成（90%未満）

※1：玉川・府中・我孫子食堂（本社ビル食堂は、リニューアルのため管理対象から除く）

(2) 2022年度 環境目標（計画）

2022年度環境目標は、「NECエコアクションプラン2025」、「環境方針」等に準じ、目標を策定しており、基本的には2021年度の活動の継続となりますが、スタッフ部門は、前年度目標をスパイラルアップするために目標項目を見直しています。

また、エネルギー・水道使用量の基礎数値について、従来は当社事業活動全体の使用量をとらえていましたが、共用部分の割かけ等、自社ではコントロールできない範囲を含んでおり、これら数値を除き、管理可能範囲で目標管理していきます。

活動項目	2022年度目標	備考
【地球温暖化防止】		
エネルギー使用量（絶対値）の削減	616kl	前年度適正值▲1%
【資源循環】		
水道使用量の削減	40,578m ³	前年度適正值▲0.5%
1食あたりの生ゴミ発生量の削減 ※1	50.7g/食	前年度実績以下
【環境に配慮した事業の推進】		
フロン機器の更新 （リテイル事業部）	32台	フロン漏えい強化策 （2022年度更新予定）
食品ロスの削減 （フードサービス事業部）	2件	SDG _s の対応 （No.12：つくる責任）
環境配慮型備蓄品の提案 （ウェルネスサービス事業部）	25件	KPIと連動
ゼロカーボンアクション30活動の推進 （スタッフ）	10%up	実施の活動対比

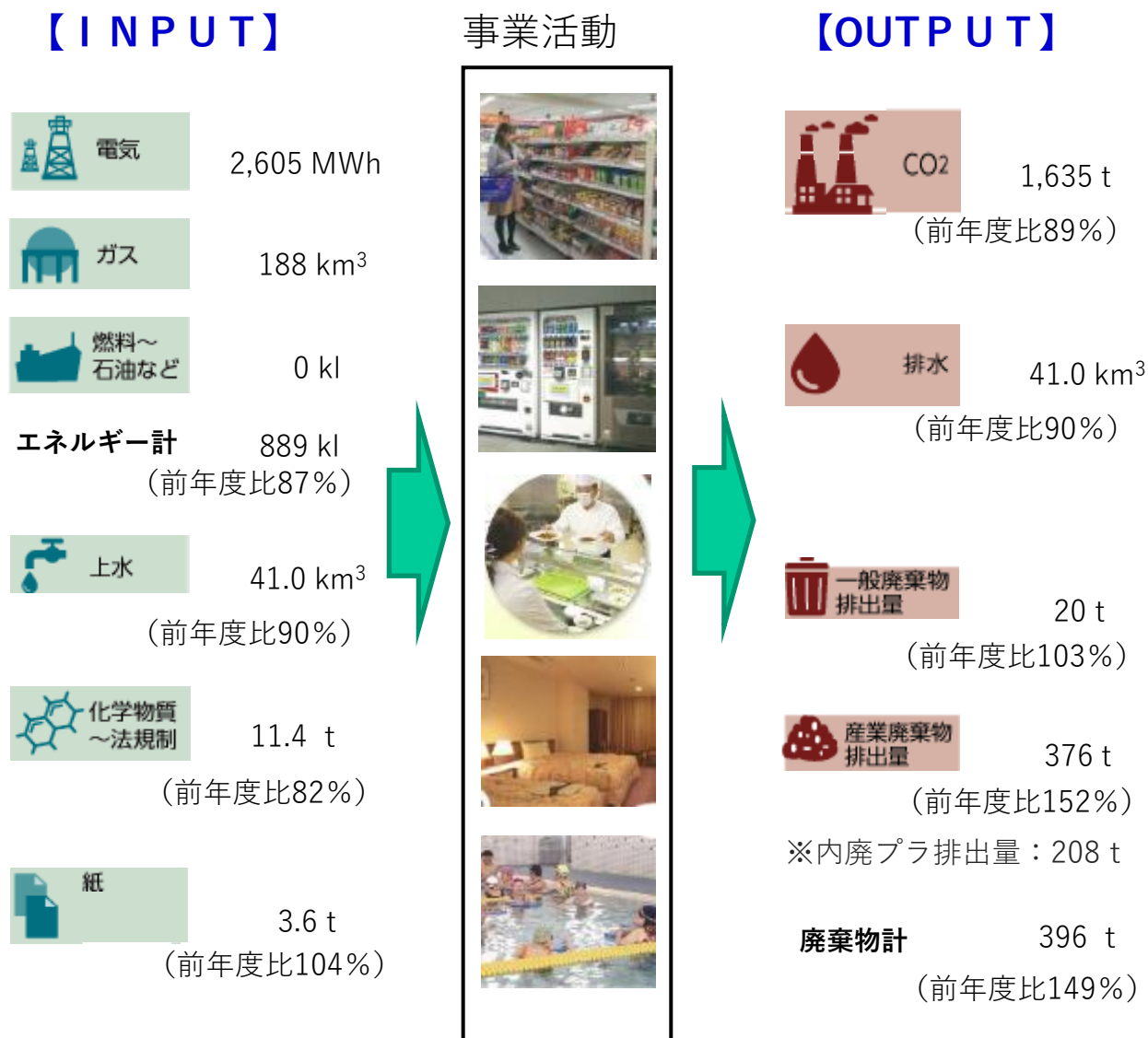
※1：本社ビル（FIELD）、玉川・府中・我孫子食堂

4. 環境負荷状況（マテリアルバランス）



当社は、事業に係わるエネルギーや資源の投入量（INPUT）、および事業活動の結果生じた環境負荷の量（OUTPUT）を把握し、環境負荷の削減に向けて取り組んでいます。

2021年度の環境負荷状況は以下のとおりです。（ISO14001認証拠点データ）



※2020年度比は、コロナ禍（休業・縮小営業等）の影響を受け一部悪化。

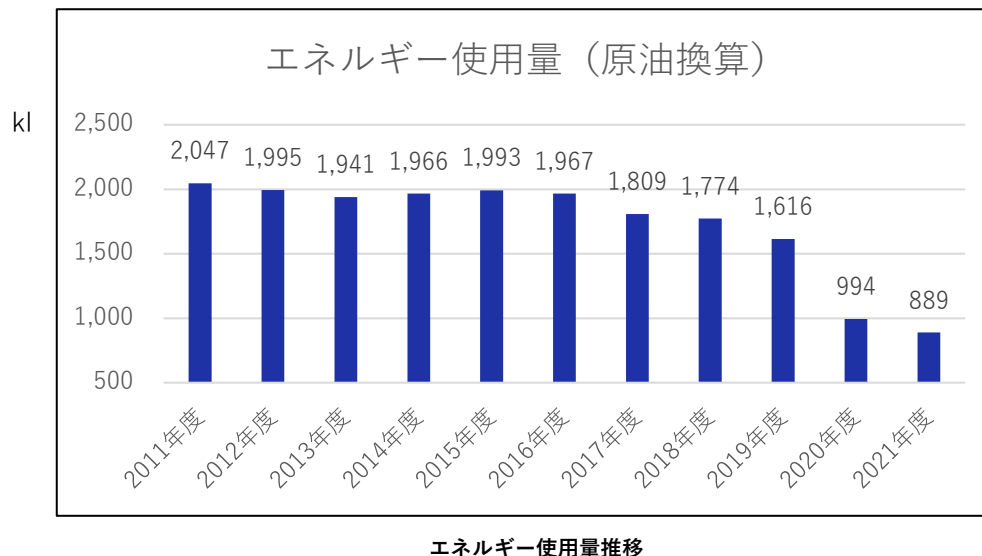
5. 主な環境負荷低減活動

当社は、環境負荷低減のため、諸々の活動を計画的に実施しています。

(1)省エネルギーおよび省資源の推進 <環境方針>



当社は、環境負荷低減のため、諸々の活動を計画的に実施しています。



ウェルネスサービス事業部では、NECグリーンスイングクラブ（玉川・溝の口）において、電気使用量の「見える化」としてスマートクロック（日本テクノ社製）を導入して省エネ活動を推進しています。

これは、電気使用量によってスマートクロック（左下写真）の色が変化し、使用量が目標値を超過するとアラームも鳴る仕組みになっており、会員と従業員と無駄な電気使用の削減と一緒に取り組んでいます。



スマートクロック



管理機器（事務所設置）



館内ポスター

(2) 食品ロス等の廃棄物削減およびリサイクルの推進 <環境方針>

当社は、廃棄物の排出量を削減するため、諸々の削減活動をしています。

① 食品ロス削減推進法への取り組み

10月の食品ロス削減月間において、環境省・農林水産省・消費者庁が推進するポスターを主要食堂に掲載して、お客様に対して食べ残し削減の推進をいたしました。
なお、2021年度の食品リサイクル法の定期報告において当社の再生利用等実施率は、71.6%で目標値（54.9%）を大きく上回りました。



食品ロス削減月間ポスター

② 食物循環型システムによるリサイクルの推進

NEC事業場の食堂では、排出される生ごみをコンポスト（肥料）化して農家に提供し、その肥料で育った野菜を、食材として購入しています。新たな食堂メニューとして提供するほか、売店で新鮮野菜として販売することで、「食物循環型システム」を実践しています。

<食物循環型システムの例>

リテール事業部では、NEC玉川事業場売店において、NECと共催し、6月と11月に「食物循環型システム」で栽培した有機野菜の販売会を実施しています。

当日の朝に収穫した新鮮な野菜をお手頃な価格で提供しながら、売店を利用する多くの従業員へ活動を紹介し、コンポストも無償配付して環境意識の啓発も行っています。



新鮮野菜販売会<2019年度>

※2021年度は、2020年度同様、コロナ禍の影響を受け実施できませんでした。

③ 調理ロス対策、売れ残り対策

フードサービス事業部では、運営する食堂に従事する従業員向けに研修会等を実施し、調理におけるロス（材料・熱量）を極力発生させないよう、技術の向上を図っています。

また、食材発注数を最適化するために、曜日や天候、イベント有無を加味して在館人数を予想しています。

時間帯別の販売状況から追加調理開始のタイミングをはかり、売り切れによるCS低下の防止と売れ残り防止のバランスを調整することで、食品ロス低減に取り組んでいます。

(3) 環境に配慮した商品およびサービスの提供 <環境方針>



当社は、お客さまの環境負荷を削減するため、様々な活動を実施しています。

①「シェアステデリバリー」の実証実験開始

リテイル事業部では、NECソリューションイノベータ(株)開発のランチ集約配送サービス「シェアステデリバリー」の実証実験を12月6日から玉川事業場で開始しました。このサービスは、対象のランチメニューを集約して配送するサービスのため、お客様にとって配送料がお得になるだけでなく、飲食店にとっても食品ロスの削減、配送効率化によるCO2排出量の削減につながる環境面でも良いしくみです。

今後は、参加飲食店、対象地域が増えることでメニューの多様化等が見込まれ、益々の期待がされています。

※本システムは、多数メディアでも紹介。



「シェアステデリバリー」ポスター

②環境に配慮した防災備蓄品の提案

ウェルネスサービス事業部では、NECおよびNECグループ会社に納入している防災備蓄品の更新時に、環境配慮型製品（省資源、省スペース、長寿命）との入替えを提案しています。

これにより、お客さまの備蓄品の保管スペースの削減や使用後の包装・空缶等の廃棄物を抑制できます。

2021年度は、ビルの移転、ビルのリニューアルに伴う備蓄品移設プランの作成、移設・再配置を多数実施させていただきました。



環境に配慮した防災備蓄品

6. 社会貢献活動

当社は、NECや地域と一体となり、様々な社会貢献活動を継続して実施しています。

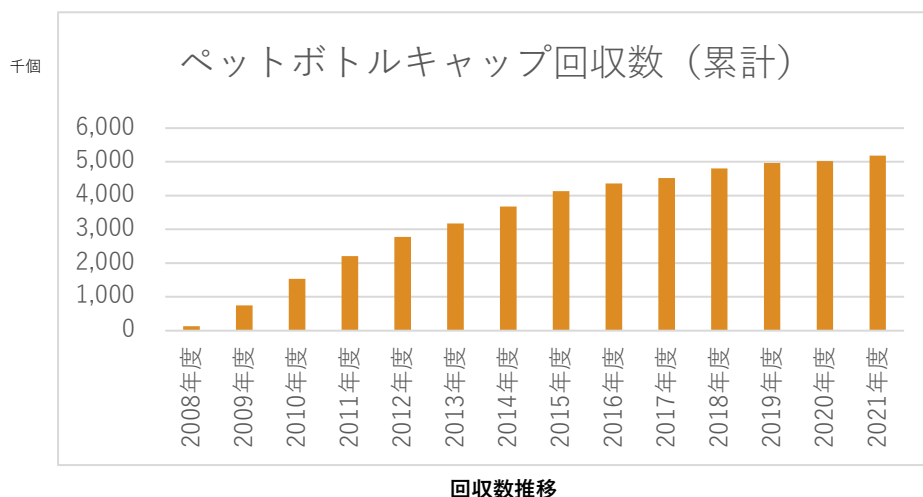
(1) 寄付活動



◆エコキャップ回収による寄付

ウェルネスサービス事業部では、NECグリーンスイミングクラブ（玉川・溝の口）において において2008年度から会員およびその家族と一体となってペットボトルのエコキャップの回収活動を行ない、これまでに519万個のエコキャップを回収し、NPO法人「R e ライフスタイル」に寄贈しました。

これは、開発途上国に 約1.3万人分のポリオワクチンを寄贈したことになります。



回収ボックス

◆災害用備蓄品の提供による寄付

フードサービス事業部およびリテイル事業部では、NECが推進する社会貢献活動に協力し各地区に備蓄する災害用備蓄品（アルファ米、ビスケット）の賞味期限が切れる前に、食堂や売店で販売し、その売上金の一部をWFP国連世界食糧計画へ寄付しています。

2021年度は、10～1月に販売を行い、3月に寄付を行いました。



アルファ米



ビスケット



告知ポスター

(2) 復興支援・地域貢献活動



当社は、地域や被災地を支援するため、諸々の活動をしています。

◆復興支援活動

フードサービス事業部では、6/7～6/11の間、都内の委託食堂において、クライアント様のご支援のもと、「東北復興応援フェア」を実施しました。

日替わりで岩手、宮城、福島県の地元食材を使用した5種のメニュー（気仙沼産かつおカツセット、あべ鶏竜田揚げセット、油麩丼、喜多方ラーメン、金華さば塩焼きセット）を提供し、大変、お客様にも好評をいただき、通常のフェアの約2倍の販売数となりました。



東北復興応援フェア ポスター

◆地域貢献活動

ウェルネスサービス事業部では、NECグリーンスイミングクラブ（玉川・溝の口）において、例年、会員の方等と当社従業員が一体となった海岸等の清掃活動を実施していましたが、2021年度も2020年度同様、コロナ禍の影響で外出活動の制限があり、施設内で「七タイイベント」を実施しました。短冊用の笹を準備し、それぞれの願い事を書きこみ通路に掲示しました。



七タイイベント実施状況

環境アニュアルレポート2022

株式会社NECライベックス

〒108-8305 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル6F

TEL:03-3455-0333(代表)

発行日：2022年8月31日

発行責任者：福島 光

お問い合わせ先：環境推進室

TEL.03-3455-0086 FAX.03-3455-0584

e-mail： kaneian@livex.jp.nec.com

☆本レポートはインターネットでもご覧いただけます。

[Http://www.neclivex.co.jp/](http://www.neclivex.co.jp/)



 **Orchestrating** a brighter world

NEC